

## 第3回 Zoom を活用したオンラインで研究会を開催して

6月20日に、令和2年度第3回の研究会を開催しました。県内11人の方々と議論をいたしました。コロナウイルス感染前の教育活動に戻るのか、新しい教育活動を作っていくのかから議論を始めました。通常に戻りだしてきた中学校の部活動ですが、生徒のモチベーション、教師のモチベーションが上がっていない点の報告から、今まで目をつぶってきたり、伝統的な業務だからと光が当たらなかったことに、コロナ後は光が当たりつつある話題となりました。また、議論が進む中で、「児童・生徒の本音が出るとき（時間、場所、出やすくする工夫等）、「分断」などをキーワードに議論がされました。異年齢交流の複式について、また通常学級においても学級を2つに分けて、複式のような授業を行った実践報告もされました。

人がもっと本音を語る時はどういうときか、本音を語りにくい構造とはどういう授業か、遊びのように学ぶことができるのかという議論と進みました。

また一緒に、再開しつつある学校の授業について、話し合しましょう。

研究会参加希望の方は、ここにメールをください。

[shinyatk1616n@yahoo.co.jp](mailto:shinyatk1616n@yahoo.co.jp)